

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名： 静岡県交通基盤部都市局

事業の名称： 都市計画道路岡部中央幹線
街路整備事業

実施都市名： 静岡県藤枝市(旧岡部町)

事業目的

岡部中央幹線は、旧東海道であるとともに沿道に旧岡部町役場や商店が並ぶ地域のシンボリックな路線である。しかし、現道幅員が狭小で十分な歩道が確保されておらず、慢性的な渋滞を引き起こすとともに、歩行者の安全が十分に確保されていなかった。

このため、県・市・地域住民が一体となって、道路整備にあわせ魅力ある街づくり及び景観形成を図るものである。

事業概要

事業名称：都市計画道路岡部中央幹線街路整備事業

路線名：岡部中央幹線

事業箇所：静岡県藤枝市岡部町内谷～岡部町岡部

事業延長：417m

幅員：16～17m(2車線)

事業費：約21億円

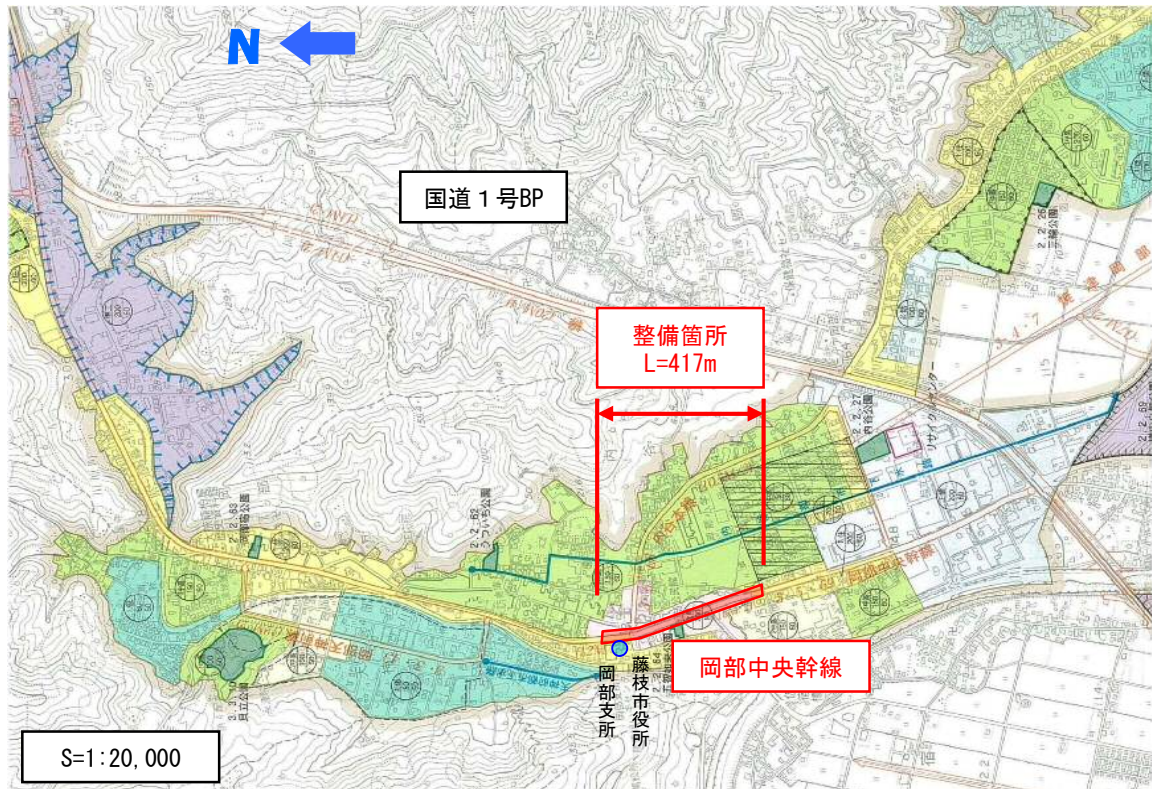
事業実施期間：平成9年度～平成22年度

本事業は、渋滞解消、歩行者の安全で快適な歩行空間の確保のため、道路拡幅、自転車歩行者道整備、無電柱化を実施した。また、藤枝市(旧岡部町)や地域住民と一体となって魅力ある街づくりを実現するため、沿道家屋は地権者の協力のもと、「現代和風」をコンセプトとした建築とし、周辺では藤枝市(旧岡部町)による関連事業として、公園や市道、総合案内所などが整備された。

なお、近隣工区では旧東海道の松並木を活かした道路整備が行われている。

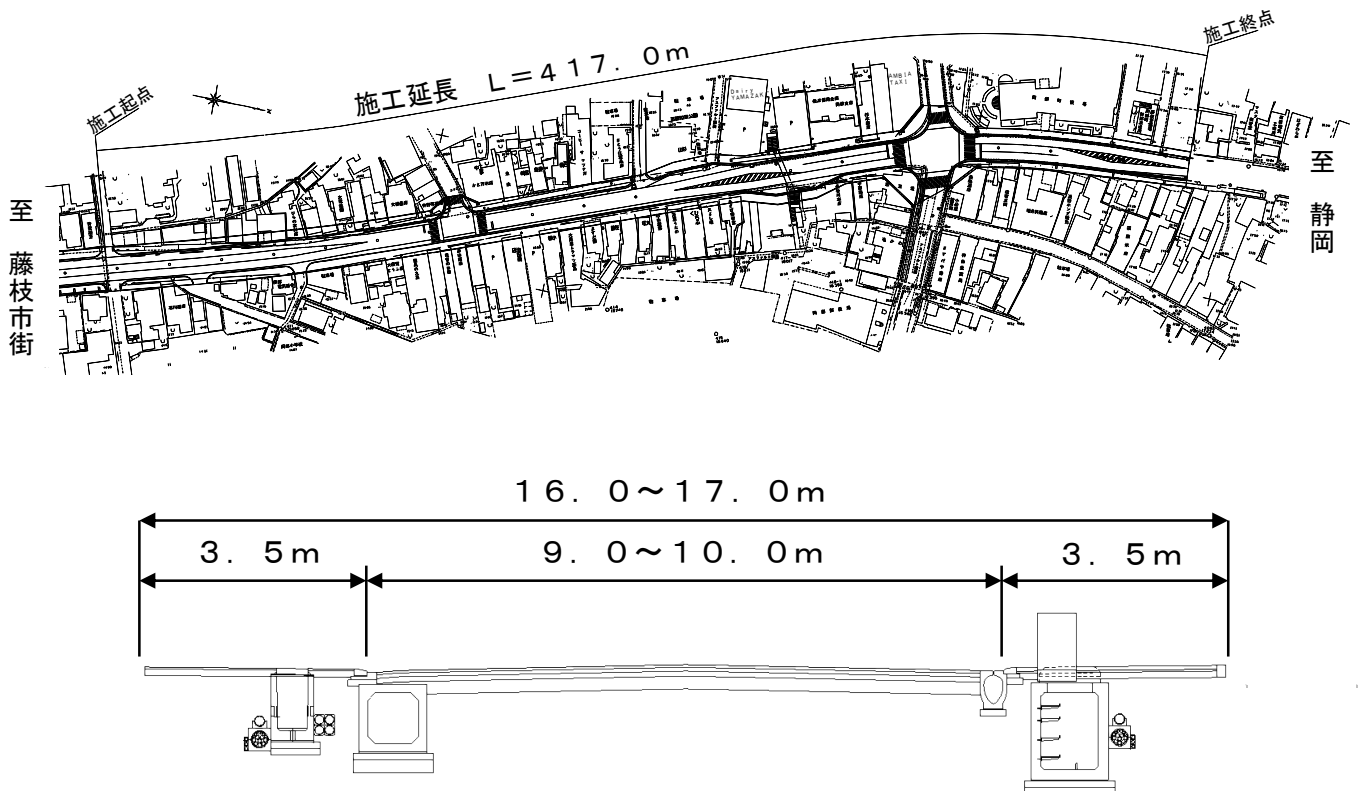
至東京

事業位置図



至名古屋

全体図(平面図・横断図)



岡部中央幹線の整備効果アピール資料

①道路整備にあわせ、県・市・地域住民が一体となって魅力ある街づくり、景観形成を行った。



「現代和風」をコンセプトとした沿道家屋



地域住民主導の景観形成ワークショップ



県による道路整備(バスレーン、景観舗装、無電柱化)
市による公園、総合案内所、バス待機所整備
商店街による街路灯整備



「整備効果①」

道路整備と一体となって実施した沿道の景観向上への取り組みや、関連施設整備により、沿道環境の改善、景観の向上が図られ、良好な都市空間が創出された。

地域住民や商店街の積極的な街づくりへの参加により、地元にも愛される道路となっている。

②道路整備(道路拡幅、自歩道整備、景観舗装、無電柱化)により、自動車交通の円滑化と快適な歩行空間の形成がなされた。



小学生でも安全に通行できる自歩道



右折レーンの設置により、交通もスムーズに

「整備効果②」

道路拡幅やバスレーンの設置により、渋滞が解消【混雑度(H11:1.15 → H22:0.90)】

自歩道整備により、快適な歩行空間が創出【交通量(H11:378人台/12h→H17:675人台/12h)】

事業前写真

平成9年3月撮影



平成9年3月撮影



事業後写真

平成23年3月撮影



平成23年3月撮影

